

テーマ No.3

音楽の自動採譜：電子の耳コピーに挑戦

音楽信号から楽譜を書き起こすことは「採譜」と呼ばれ、さらに砕けた言い方では「耳コピー」と呼ばれています。採譜には特殊な技能が必要であり、「音を記号であらわす」という意味では音声の書き起こしと似ています。コンピュータに採譜をさせることを「自動採譜」と呼び、音楽の情報処理の中で重要な研究分野です。本研修では、深層学習を使った自動採譜に挑戦します。下図のように、音楽信号の波形をスペクトログラムに変換し、これをニューラルネットワークで処理することによって楽譜に相当する情報を得ます。自動採譜にはさまざまな難しさの課題がありますので、研修の進み具合によっては、より難しい課題に挑戦します。

